七世尾上梅幸 二十三回忌
十七世市村羽左衛門 十七回忌 追善

團菊祭五月大歌舞伎

平成29年5月3日〈水〉初日→27日〈土〉千穐楽

◆昼の部 午前11時開演

一、梶原平三誉石切
初代坂東楽善 九代目坂東彦三郎 三代目坂東亀蔵 襲名披露狂言
鶴ヶ岡八幡社頭の場

二、吉野山
義経千本桜
竹本連中

三、魚屋宗五郎
河竹黙阿弥 作
新皿屋舗月雨暈
二幕

◆夜の部 午後4時30分開演

一、壽曽我対面
初代坂東楽善 九代目坂東彦三郎 三代目坂東亀蔵 六代目坂東亀三郎 襲名披露狂言 初舞台
劇中にて襲名口上申し上げ候
一幕

二、伽羅先代萩
御床対刃傷決下殿
三幕四場

三、四変化 弥生の花浅草祭
戸崎四郎 補綴
神功皇后と武内宿禰 社人・野暮大尽 石橋 通人・三囲
荒磯津浦中 隅田川堤中 長唄囃子連中
三幕

製作 松竹

◆昼の部

「石切梶原」
梶原平三誉石切 坂東亀三郎改め 彦三郎
俣野五郎景久 坂東亀寿改め 松緑
剣菱香助 尾上右近
奴菊平 菊之助
山口十郎 巳之助
川島八平 廣太郎
岡崎将監 橘寅之助
森村兵衛 尾上松緑
梢 尾上右近
六郎太夫 團蔵
大庭三郎景末 彦三郎改め 楽善
「吉野山」
佐藤忠信実は源九郎狐 中村梅枝
逸見藤太 海老蔵
静御前 菊之助
「魚屋宗五郎」
魚屋宗五郎 菊五郎
女房おはま 時蔵
機部主計之助 松緑
召使おなぎ 梅枝
酒屋丁稚与吉 初お目見得 寺嶋眞秀
岩上典蔵 市蔵
小奴三吉 権十郎
菊茶屋女房おみつ 萬次郎
父太兵衛 團次郎
浦戸十左衛門 左團次

◆夜の部

「対面」
工藤祐経 菊五郎
曽我五郎時致 彦三郎改め 彦三郎
近江小藤太 坂東亀寿改め 松緑
八幡三郎 梅枝
化粧坂少将 竹三郎
秦野四郎 亀蔵
鬼王家臣亀丸 初舞台 寺嶋眞秀
梶原平次景高 橘太郎
鬼王新左衛門 権十郎
梶原平三景時 萬次郎
大磯の虎 家橋
曽我十郎祐成 時蔵
小林朝比奈 彦三郎改め 楽善
「御殿」
乳人政岡 菊之助
八汐 歌梅
沖の井 梅枝
松島 尾上右近
「伽羅先代萩」
栄御前 魁春
仁木弾正 松緑
荒獅子男之助 海老蔵
細川勝元 右團次
山名宗全 市蔵
大江鬼貫 廣太郎
黒沢官蔵 九團次
山中鹿之助 右團次
渡辺外記左衛門 友右衛門
渡辺民部 梅玉
仁木弾正 松緑
「弥生の花浅草祭」
獅子の精 坂東亀蔵
通人・三囲 松緑
神功皇后 海老蔵
武内宿禰 右團次
横佩玉藻 市蔵
獅子の精 廣太郎
通人・玉藻 九團次
暫 右團次
内宿 友右衛門
横佩玉藻 梅玉
獅子の精 松緑
通人・玉藻 海老蔵
暫 右團次
内宿 市蔵
横佩玉藻 廣太郎
獅子の精 九團次
通人・玉藻 右團次
暫 友右衛門
内宿 梅玉
横佩玉藻 松緑

4月12日(水)10:00より電話予約・Web受付開始 〔貸切日〕昼の部…7日(日) ※一幕見席は上記貸切日も営業しております

◆チケットホン松竹(10:00～18:00)ナビダイヤル 0570-000-489 または03-6745-0888
※窓口販売・お引取りは、4月14日(金)午前10時より ※窓口販売用別枠でのお取置きはございません。
お電話番号のおかけ間違いには充分ご注意ください。 間違い電話防止のため、電話機の「リダイヤル機能」はご使用いただかず、1回ごとにダイヤルボタンを押していただくよう、ご協力をお願い申し上げます。
◆チケットWeb松竹(24時間受付、発売初日は10:00から) チケットWeb松竹 検索
※チケットWeb松竹のお問合わせ 03-35[illegible]-2200(10:00～18:00)

ご観劇料(税込)	
1等席	18,000円
2等席	14,000円
3階A席	6,000円
3階B席	4,000円
1階桟敷席	20,000円

歌舞伎座
〒104-0061 東京都中央区銀座4-12-15
東京メトロ日比谷線・都営浅草線「東銀座」駅3番出口
歌舞伎公式サイト「歌舞伎美人」http://www.kabuki-bito.jp

薫風そよぎ　先人を偲び襲名を寿ぐ團菊祭

昼の部（午前11時開演）

【石切梶原】　情と智を兼ね備えた名将を描く時代物の名作

平家の武将梶原平三景時や、大庭三郎・俣野五郎兄弟が鶴ヶ岡八幡宮に参詣するところ、源氏方の六郎太夫と娘の梢が刀を買ってもらおうとやってきます。鑑定を求められた景時が刀を検めると、何とも見事な刀。大庭はその刀を買い取ろうとしますが、六郎太夫を疑う俣野の進言により、その場で、二人の人間を重ねて斬る「二つ胴」の試し斬りで、刀の斬れ味を確かめることになります。しかし、死罪人は一人しかおらず、どうしても金の工面が必要な六郎太夫は、自分の体を使うよう申し出ます。試し斬りを請け負った景時は、一気に刀を振り下ろしますが…。

新彦三郎が羽左衛門型で梶原平三を、新亀蔵が俣野五郎をそれぞれ初役で演じ、そして新楽善が大庭三郎を勤める、襲名披露狂言をお楽しみください。

【吉野山】　桜満開の吉野山を舞台に描く華やかな舞踊劇

源義経の愛妾静御前と義経の忠臣佐藤忠信は、都を落ち延びた義経が吉野山中にいることを知り、その元へと向かいます。その道中、静はいつの間にか忠信を見失いますが、義経から賜った「初音の鼓」を打つと、不思議なことに忠信が姿を現します。忠信は義経から拝受した着長を取り出し、過ぎし日の壇ノ浦の合戦に思いをはせます。実はこの忠信、鼓の皮に用いられた狐の子で、忠信の姿を借りて静を守護しているのです。そこへやってきたのは鎌倉方の追手、逸見藤太。これを難なく蹴散らした忠信は、静とともに吉野山へと道を急ぐのでした。

静と忠信の連れ舞や、源平の軍物語など、見どころの多い華やかな道行をご堪能ください。

【魚屋宗五郎】　妹を思う男の哀感を描いた生世話物

魚屋を営む宗五郎の家では、皆が悲しみに沈んでいます。というのも、旗本の磯部主計之助の妾になった宗五郎の妹お蔦が、不義の咎で手討ちになったのです。ところが、弔問に訪れたお蔦の朋輩おなぎから、お蔦は御家横領を企む者に濡れ衣を着せられ、主計之助によって殺された、と明かされます。禁酒中の宗五郎でしたが、妹の不条理な死に耐え兼ねて酒をあおり、酔っ払って磯部の屋敷に乗り込んでしまいます。散々に悪態をつき、縄で縛り上げられた宗五郎でしたが、家老の浦戸十左衛門に対して、妹をなぶり殺しにされた悔しい胸の内を訴え…。

江戸庶民の生活を生き生きと描いた河竹黙阿弥の傑作をご覧ください。

夜の部（午後4時30分開演）

【対面】　歌舞伎の様々な役柄が楽しめる華やかな祝祭劇

富士の巻狩りの総奉行に任じられた工藤左衛門祐経の館では、諸大名が宴に興じています。そこへ、曽我十郎と五郎の兄弟が現れ、弟の五郎は、父の仇を討とうと工藤に迫りますが、兄の十郎が諌めます。それを見た工藤は兄弟に盃を授け、まずは紛失した源氏の重宝友切丸を見つけよと諭します。すると、そこへ曽我家の家臣鬼王新左衛門が友切丸を手に駆けつけます。工藤は意を決し、兄弟に狩場への通行切手を与えると、再会を約束して別れるのでした。

新彦三郎が曽我五郎、新亀蔵が近江小藤太、新亀三郎が初舞台にて鬼王家臣亀丸、そして新楽善が小林朝比奈をそれぞれ勤める、格式美に満ちた襲名披露狂言をお楽しみください。

【伽羅先代萩】　伊達家の騒動を背景にした時代物の大作

〈御殿〉　御家横領を企む執権仁木弾正らの計略により、乳人の政岡は、家督を相続して命を狙われる幼い鶴千代、我が子の千松とともに御殿の奥に引き籠っています。そこへ管領山名宗全の妻栄御前が見舞いと称して、毒入り菓子を鶴千代にすすめますが、それを食べたのは千松。毒で苦しみはじめた千松に、弾正の妹である八汐は懐剣をつき立てますが、動じない政岡の様子に、栄御前は味方だと信じ込み、悪事を画策した一味の連判状を政岡に渡します。その後、一匹の鼠が現れ、連判状を奪い去ってしまいます。

〈床下〉　床下で鶴千代を守る荒獅子男之助は、連判状を咥えた鼠を捕らえようとしますが、実はこの鼠、仁木弾正が姿を変えたもの。弾正は妖術を用い悠々と姿を消します。

〈対決・刃傷〉　騒動は幕府の問註所で裁かれることになり、仁木弾正らと忠臣方の渡辺外記左衛門らが対決します。山名宗全によって外記左衛門敗訴となりますが、そこへ現れた管領細川勝元が判決を覆します。追い込まれた弾正は外記左衛門に斬りかかりますが…。

緊迫感あふれる大作をご堪能ください。

【弥生の花浅草祭】　軽快な振りが躍動感を生み出す四変化舞踊

三社祭で賑わう浅草。山車の屋台に飾られた神功皇后と武内宿禰の人形に魂が入り、軍物語や恋の話などを語り合います。所変わって宮戸川では、二人の漁師に善玉と悪玉が取り付き、善悪の面をつけた二人は、激しくも軽快に踊ります。そこへ通りかかった通人が悪玉に絡まれ、酒に酔って千鳥足で現れた野暮な国侍と二人で踊り浮かれます。場面は変わり、文殊菩薩が住む天竺の霊地の石橋。獅子の精が現れ勇ましく毛を振り、獅子の座へと直るのでした。

変化に富んだ音楽と、軽快な早替りをご覧ください。

（平成二十九年五月）

場内サービスのご案内

◎ご観劇に関するお問い合わせは　歌舞伎座 TEL 03-3545-6800（代表）

◎切符売場は歌舞伎座地下2階木挽町広場にございます。
営業時間は午前10時～午後6時までとなります。

◎切符預かり所
ご入場券のお預けは劇場正面向かって右側の窓口でお受け致します。

◎お食事のご予約とお問い合わせは　＊ご予約はご観劇の2日前まで承っております。
お食事処予約：歌舞伎座サービス　TEL 03-3545-6820（10：00～17：00）
折詰のお問い合わせ：お弁当処やぐら　TEL 03-3545-6576（10：00～18：00）

◎ご観劇のお供に、イヤホンガイドと字幕ガイドがございます。
○イヤホンガイド ご使用料 700円（一幕見席でのご利用は 500円）
※保証金は1台につき1,000円です。
○字幕ガイド ご使用料　日本語版／英語版　1台 1,000円
（ご利用時に携帯電話番号、または松竹歌舞伎会会員番号をご登録いただくか、身分証のご提示を願います。英語版の字幕ガイドをご利用時には、携帯電話番号をご登録いただくか、代わりにIDカードをお預かりさせていただきます）
※一幕見席でのご利用は ご使用料 日本語版／英語版 1台500円 保証金は1台につき1,000円です。
お問い合わせ：株式会社イヤホンガイド TEL 03-3546-0265

歌舞伎座 イベント託児サービスのご案内

ご予約、お問い合わせ先

●株式会社マザーズ（イベント託児サービス委託会社）

●マザーズ・フリーコール
0120-788-222（平日 10:00～12:00/13:00～17:00）

■実施日（5月公演分）
昼の部 6日(土) 18日(木)
夜の部 15日(月) 19日(金) 23日(火)

歌舞伎座ギャラリー（歌舞伎座タワー5階）

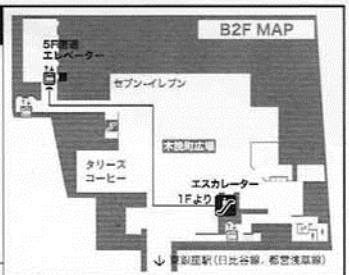
体験空間　**歌舞伎にタッチ** —しる・みる・ふれる・やってみる—

好評開催中

●開館時間＝10：00－17：30［最終入館17：00］
●入場料＝一般600円　小・中学生500円［小学生未満無料］
団体500円［20名様以上・一律］　イヤホンガイド付き1,500円
●切符取扱＝歌舞伎座ギャラリー前　切符売場（歌舞伎座タワー5F）

※当月の歌舞伎座ご観劇券（当日幕見券）ご提示で 600円➡500円

東京都中央区銀座4-12-15 歌舞伎座タワー5F
お問合せ：TEL.03-3545-6886
https://facebook.com/KabukizaGallery　http://kabuki-bito.jp/「歌舞伎美人」
http://www.shochiku.co.jp/play/kabukiza/gallery/「松竹公式HP」



歌舞伎座ギャラリーへお越しの際は、B2木挽町広場より5F直通エレベーターをご利用ください。